ことにしています。

県内の第一種公認競技場は、八橋競技場と雄和町の県営競技場の二カ所です。長根山運動公園競技場が公認されれば、東北や全国レベルの大規模な大会の開催も可能となります。

屋根付多目的グラウンドについて

県は、平成三年度に策定した新総合発展計画の中に「屋根付多目的グラウンド」を広域的な施設として建設することを示しています。市ではこれを受けて、比内町と田代町を含む「屋根付多目的グラウンド建設誘致促進期成同盟会」を結成し、市への誘致に向けて運動を展開しています。

また、庁内に検討プロジェクトチームを設置し、同施設の位置付けや規模、利用計画などについて検討していましたが、先日、結果報告の提示を受けました。現在は、この報告を参考にしながら、周辺整備を含めた整備構想を検討しています。

なお、早期実現を目指すため、先月二十七日に、同盟会と市、比内町、田代町の連名で、県知事をはじめ関係部課長に陳情を行ってきました。陳情内容は、①硬式野球、サッカー、ラグビーができる規模とすること②相当規模の観客席を有すること③完成時期を平成九年度までとすること――などです。

老人福祉総合エリアの誘致について

市内の満六十五歳以上の高齢者人口は一万千四百六十九人で高齢化率は一六・九%に達しています(七月現在)。このまま推移すれば、平成七年には約二〇%、十七年には約二五%という超高齢化社会になることが予想されます。

市では、高齢化社会に対応するため、今月一日、福祉事務所内に老人福祉施設誘致担当を配置するとともに、市老人福祉総合エリア検討委員会を設置しました。これは、県が進めている老人福祉総合エリア計画を市に誘致するための活動をさらに強めていくものです。

完成した成章小プール

公共事業の発注並びに進ちょく状況について

九月末現在の公共事業発注状況は八四・八%となっています。これは、国の緊急経済対策を受けた市の施行促進目標八四・三%を上回り、前年度対比でも一一・七%上回っており計画どおり進んでいます。既に発注している主な公共事業の進ちょく状況は次のとおりです。

○農林関係

山館地区農業集落排水事業は、処理施設工事が約三〇%、管路工事が約二〇%の進ちょく率になっています。いずれも五年三月十九日の契約工期までには完成する見込みです。

○学校関係

成章小学校のプール建設工事は、先月十六日に完了しました。十㍍×七・五㍍の小プール(低学年用)と二十五㍍×十三㍍の大プールのほか、更衣室、トイレ、シャワーを備えた管理棟があり、来年度から利用されることになります。

○体育施設関係

大滝温泉スキー場に新しいロープトウとゲレンデ用照明灯の設置を進めています。現在、老朽化したロープトウを撤去し、新設個所の整地を行っています。進ちょく率は約一〇%ですが、契約工期の五年一月二十日までには完成の見込みです。

その他の行政報告

▽(仮称)大館短期大学誘致について

▽きりたんぽまつり及び郷土品まつりについて

▽第二回生涯学習フェスティバル「まなびピア'92inおおだて」について

▽市立十二所保育園改築事業について

「大館短大」の設置構想

市議会全員協議会で報告

十二月七日、市議会議員全員協議会が開かれ、小畑市長が、「(仮称)大館短期大学」設置に向けた、これまでの協議経過や設置構想案を報告しました。その要旨をお知らせします。

市では現在、秋田経済法科大学を設置主体に、七年度開学を目標とすることを、県と大学側に要望しています。設置場所は、秋田技能開発センター(清水二丁目)を想定。学科構成は、第一看護学科(三年課程)五十人、第二看護学科(二年課程)三十人、介護福祉学科四十人、社会科学系学科百人の一学年二百二十人、総定員四百九十人の予定で、三者間協議を続けています。

一方、建設事業費は全体で五十二億円が見込まれています。このうち、市の負担予想額は、市の試算では①建設費分として八億六千五百万円②開学初年度の経費として一億八千八百万円の合わせて十億五千三百万円を見込んでいます。

開学後の大学の運営費については、開学年度までに十億円の基金を積み立てし、その運用益による補助を検討しています。基金の内訳は、市の積み立て分を七億五千万円、民間などからの寄付金を二億五千万円と考えています。

短大の設置は、人材の育成や若者の地元定着、産業の活性化、文化の振興など地域の発展を図る大きな力になります。また、学生や教職員が集まることで、その経済効果も大きいと予想されます。引き続き短大が早期に設置されるよう努力していきますので、ご協力、ご理解をよろしくお願いします。